

仕事始め式

H28.01.04 (月)

皆さん、明けましておめでとうございます。
今年の正月は、近年になく、暖かく、いい正月でした。
皆さん、ゆっくりされたでしょうか。

報道によりますと、初詣での人出も多く、元旦と2日の出雲大社の参拝客は昨年よりも50%程度の増加で、津和野の稲荷神社では25%増程度となった模様であります。

また、国宝に指定された松江城の周辺も人出が大変多かったように思います。

観光振興を推進しようとする島根にとりましては、大変うれしい年明けであります。

さて、国におかれましては、夏の参議院選挙を控えまして、本日、通常国会が召集され、会期は6月1日までの150日間とされました。

政府は、今年度補正予算を成立させ、続いて当初予算の審議を早期に行う方針だと報じられております。

こうした国の予算編成の中で「地方創生」や「一億総活躍」など、地方に関連した予算が具体的にどうなるか、我々もよく注視していく必要があります。

仕事納めでも申し上げましたが、本年は、昨年の秋に作成しました「総合戦略」を実施に移していく年であります。

ご承知のように「総合戦略」では、「子育てしやすく、活力ある地方の先進県 しまね」を目指していくこととしております。

そのためには、若い人たちが安心して働ける雇用の場を増やすことがまず、第1に必要です。

産業振興、観光振興、企業誘致、農林水産業、インフラ整備などを進めなければなりません。

そして、もう一つの大きなとして若い人たちが結婚し、出産し、子育てをする大変な事を支援して行くことが必要です。

既に行っている第3子の保育料への支援に加え、第1子、第2子の負担を軽減するため、市町村への支援を決定しておりますが、こうした新たな施策の円滑な導入・実施が求められています。

さらに、中山間地域・離島など条件不利地域での産業振興、小さな拠点づくり、地域交通の確保などへの支援も行っていかなければなりません。

そして、増加する高齢者の方々のための医療・介護・福祉の充実、次世代を担う子どもたちの教育の充実、安全安心な街づくり、環境保全など、多くの課題が我々の目前にあります。

こうした多くの課題を「県財政の健全化」の枠組みの中で進めていくためには、各部局でさまざまな創意工夫をしていくことが大事であります。

皆さん、今年も島根の発展のために県庁一丸となって頑張ってください。このことをお願い致しまして、年頭の挨拶と致します。